

令和元年度 依存症民間団体支援事業報告

団体名 特定非営利活動法人リカバリー

事業名 Women Centered Care を学ぶ：女子依存症者に特化した全国支援者研修

<活動内容の概要>

本事業では、アルコール・薬物・ギャンブル等依存症の女性を支援する全国の社会復帰施設職員を主な対象とし、①：これまでとは異なる視点に立つ研修を企画し、自身の視野を広げられ、新しい知見と出会える機会を提供すること、②：精神的に健康な状態で援助を継続できるように、援助者自身の燃え尽きを防ぎ、女性依存症者の支援に必要な人材を損失しないことをコンセプトに研修を開催した。

本事業を企画した背景として、①：女性依存症者が抱える暴力被害や労働市場における劣位な条件を背景にした貧困状況、さらには子の養育をめぐる困難など、女性依存症者を取り巻く環境について、女性の特性に配慮した研修がこれまでほとんど実施されてこなかったこと、②：女性を支援する援助者は、多くの課題と直面しながら、有効な手立てを十分に見出せずに、それぞれの地域で個別に奮闘している現状があったことが挙げられる。

当初、本事業における研修は年2回を予定しており、第2回目の研修（2020年3月5日～7日）を東京大学先端科学技術研究センター熊谷研究室と共催のもと開催する準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から残念ながら中止とした。そのため、令和元年度の本事業における研修は、1度の開催（2019年12月5日～7日：札幌市）のみとなった。

詳細な研修内容については、当法人のホームページにある「令和元年度女子依存症者に特化した全国支援者研修 報告書」をご参照いただきたい。

<事業の成果>

本事業（研修）を実施したことによって、女性依存症者を支援していく上での援助枠組みや疾患理解が深められ、また全国の支援者とお互いの具体的な支援内容や課題、困りごとを共有でき、支援者自身のケアや次につながる実践を学ぶ機会を設けることができた。アンケート結果（「令和元年度女子依存症者に特化した全国支援者研修 報告書」参照）からも読み取れるように、本事業の目的である最新の女性依存症者支援を学び援助枠組みを構築すること、お互いの実践を共有し交流することで孤立を防ぐことに関して概ね達成できたと評価してい

る。さらに、少しでも多くの支援者や関係機関に女性依存症者の支援について考え、現状を知っていただくため、本事業における成果および研修内容を報告書にまとめ、全国（主に北海道や東京近郊）の依存症支援機関に配布した。

本事業によって、女性依存症者に特化した研修を実施していくための基盤（運営体制・支援者間のつながり等）作り、支援におけるポイントを蓄積できたと言える。次年度以降も、女性依存症者の援助枠組みと理解を深める内容で研修を企画し、全国で女性依存症者を支えることができる人材の育成と、支援の輪を広げていくことを引き続き目指したい。中止となった第2回目の研修内容（ジェンダーと法との関係、トラウマケア等）については、引き続き実施に向けた調整をおこなっていききたい。



ホームページ URL : <http://www.phoenix-c.or.jp/~recovery/>